

人権の

“第三の千年”に何が必要か

世紀への メッセー

Daisaku Ikeda

池田大作

Adolfo Pérez Esquivel

アドルフ・オ・ペレス・エスキベル

東洋哲学研究所

人権の

第二の千年に何が必要か

世紀への メッセージ

Daisaku Ikeda

池田大作

Adolfo Pérez Esquivel

アドルフ・オ・ペレス・エスキベル

東洋哲学研究所

人権の世紀へのメッセージ
『第三の千年』に何が必要か

二〇〇九年（平成二十一年）十一月十八日 発行

著者 池田大作

アドルフ・ペレス・エスキベル

発行人 川田洋一

発行所 財団法人 東洋哲学研究所

〒一九二-〇〇〇三

東京都八王子市丹木町一-二三六

電話 〇四二（六九一）六五九一

振替 〇〇一三〇-七-二二三九四

印刷・製本 共同印刷株式会社

© Daisaku Ikeda and Adolfo Pérez Esquivel

ISBN978-4-88596-072-7 C0030

Printed in Japan 2009

人権の世紀へのメッセージ
第三の千年に何が必要か

目次

第1章

人権闘争——壮大なる勝利のドラマ

民衆の「苦悩の歴史」に終止符を—— 13

抵抗運動の長い道のり—— 16

「国家によるテロ」が横行—— 20

「暴力は獣類の法」「非暴力は人類の法」—— 25

暴力は「嘘」を武器にする—— 30

あえて波瀾の闘争生活へ—— 36

夫の逮捕！ そのとき夫人の勇気が—— 40

過酷な獄中闘争—— 43

日本の軍市政権との戦い—— 48

入獄で いよいよ強くなる—— 52

飛行機から投げ落とす——死のフライト—— 54

民衆を代表して受けた「草の根の平和賞」—— 58

絶体絶命の危機をはね返す—— 61

運命は変えられるか—— 64

「心」を変えよ「行い」を変えよ—— 68

第2章

地球を結ぶ民衆の力

ラテンアメリカから見た世界—— 85

権力は「民衆の台頭」を抑える—— 89

緊急対応と構造改革——どちらを優先—— 95

抑圧の闇を払った「民衆勝利の太陽」—— 100

民衆連帯には「組織」が必要—— 104

「悲劇を繰り返さない」ためには—— 109

「精神の空洞化」から全体主義が—— 114

「商品」ではなく「いのち」を基準に ————— 118

「統一されたラテンアメリカ」への夢と課題 ————— 122

文化の継承と学び合い ————— 126

古代文明人は エコロジスト ————— 130

日本とアルゼンチンは、地球を背にした隣人 ————— 135

「最高のトウモロコシ」の秘密とは ————— 144

第3章

非暴力の精神の継承

「平和の闘士」を心に抱いて ————— 163

わが人生に「特別の意味」をもつ人 ————— 169

「大地の声を聴きなさい」——祖母の教え ————— 177

ラテンアメリカに非暴力を広げた先人 ————— 182

バラモンの少年に「トイレ掃除」をさせたガンジ ————— 186

指導者の多くは「言葉」と「行い」が分離―― 191

「精神性の道」を行けば 平和にたどり着く―― 198

第4章

女性――“生命の世紀”の担い手

「個人主義の社会」に「連帯の文化」を―― 213

女性の果たす役割に期待したガンジ―― 215

正義の闘いに身を投じた女性たち―― 219

母の祈りが平和行動の原点―― 227

「人間性の光」で社会を照らした女性たち―― 232

差別と抑圧の「力の文明」を超えて―― 239

勝鬘夫人しょうまんとマザー・テレサ―― 244

法華経に「女性の人権宣言」が―― 247

女性教育を重視した牧口初代会長―― 251

女性は「対話の力」で 人類を文明化 ————— 254

「人類の良心を呼び起こす戦い」 ————— 259

第5章

青年——「平和の文化」の大建設を

核兵器は絶対悪——広島への思い ————— 283

平和のために「指導者革命」を ————— 290

世界的な「非核地帯」の拡大を ————— 296

「原水爆禁止宣言」の精神を実行 ————— 299

「暴力」は「自己正当化」と表裏一体 ————— 304

「人間の安全保障」を最優先せよ ————— 309

地球時代へ 人類の「内的宇宙」を拡大 ————— 311

「見えないものを見る力」から平和が ————— 317

「暴力の文化」をわが心から追放 ————— 323

平和を創る青年の使命

326

言行一致の人生は世界の模範

330

人權の世紀へのメッセージ
第三の千年に何が必要か

目次

第1章

人権闘争——壮大なる勝利のドラマ

民衆の「苦悩の歴史」に終止符を—— 13

抵抗運動の長い道のり—— 16

「国家によるテロ」が横行—— 20

「暴力は獣類の法」「非暴力は人類の法」—— 25

暴力は「嘘」を武器にする—— 30

あえて波瀾の闘争生活へ—— 36

夫の逮捕！ そのとき夫人の勇気が—— 40

過酷な獄中闘争—— 43

日本の軍市政権との戦い—— 48

入獄で いよいよ強くなる—— 52

飛行機から投げ落とす—— 死のフライト—— 54

民衆を代表して受けた「草の根の平和賞」—— 58

絶体絶命の危機をはね返す—— 61

運命は変えられるか—— 64

「心」を変えよ「行い」を変えよ—— 68

第2章

地球を結ぶ民衆の力

ラテンアメリカから見た世界—— 85

権力は「民衆の台頭」を抑える—— 89

緊急対応と構造改革——どちらを優先—— 95

抑圧の闇を払った「民衆勝利の太陽」—— 100

民衆連帯には「組織」が必要—— 104

「悲劇を繰り返さない」ためには—— 109

「精神の空洞化」から全体主義が—— 114

「商品」ではなく「いのち」を基準に―― 118

「統一されたラテンアメリカ」への夢と課題―― 122

文化の継承と学び合い―― 126

古代文明人は エコロジスト―― 130

日本とアルゼンチンは、地球を背にした隣人―― 135

「最高のトウモロコシ」の秘密とは―― 144

第3章

非暴力の精神の継承

「平和の闘士」を心に抱いて―― 163

わが人生に「特別の意味」をもつ人―― 169

「大地の声を聴きなさい」―― 祖母の教え―― 177

ラテンアメリカに非暴力を広げた先人―― 182

バラモンの少年に「トイレ掃除」をさせたガンジ―― 186

指導者の多くは「言葉」と「行い」が分離―― 191

「精神性の道」を行けば 平和にたどり着く―― 198

第4章

女性――“生命の世紀”の担い手

「個人主義の社会」に「連帯の文化」を―― 213

女性の果たす役割に期待したガンジ―― 215

正義の闘いに身を投じた女性たち―― 219

母の祈りが平和行動の原点―― 227

「人間性の光」で社会を照らした女性たち―― 232

差別と抑圧の「力の文明」を超えて―― 239

勝鬘夫人しょうまんとマザー・テレサ―― 244

法華経に「女性の人権宣言」が―― 247

女性教育を重視した牧口初代会長―― 251

女性は「対話の力」で 人類を文明化 ————— 254

「人類の良心を呼び起こす戦い」 ————— 259

第5章

青年——「平和の文化」の大建設を

核兵器は絶対悪——広島への思い ————— 283

平和のために「指導者革命」を ————— 290

世界的な「非核地帯」の拡大を ————— 296

「原水爆禁止宣言」の精神を実行 ————— 299

「暴力」は「自己正当化」と表裏一体 ————— 304

「人間の安全保障」を最優先せよ ————— 309

地球時代へ 人類の「内的宇宙」を拡大 ————— 311

「見えないものを見る力」から平和が ————— 317

「暴力の文化」をわが心から追放 ————— 323

平和を創る青年の使命

326

言行一致の人生は世界の模範

330